

【特選】

あいさつを広げよう

鹿島小学校 六年 山口 琉斗

ぼくは、あいさつはとつてもたいせつなことだと思っています。あいさつは、朝起きて一番最初に「おはよう」のあいさつから一日がスタートします。学校に行く時や学校についてからも、友達にあいさつをして楽しく会話が始まるのが毎日の学校での楽しみです。

あいさつをすることでいろんな人と会話ができるきっかけになるのでとても大切です。学校外でも「こんにちは」と地域の人にあいさつをすると、気持ちのいいあいさつがかえってきて、とてもうれしい気持ちになります。

ある時、近所のおばあさんにいつものように「こんにちは

は」とあいさつをしたらそのおばあさんから「いつも元気よくあいさつをしてくれてありがとう。おばあちゃんはいつも一人ぐらだからぼくがしゃべりかけてくれて、とてもうれしいよ。いつも元気をくれてありがとうね。けがをしないように元気に遊びにいつてね。」と、おばあさんが僕に話をしてくれました。ぼくは、おばあさんから「こう言ってもらえて、毎日いろんな人にあいさつをしていて、本当によかったと思いました。とてもうれしい気持ちになったので、これからもいろんな所で会う人たちに、元気よくあいさつをしようと思う強い気持ちになりました。

あいさつは「おはよう」「こんにちは」以外にも「こんばんは」「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」「おやすみなさい」など、いろんなあいさつがあります。この言葉を毎日たくさん使って、いろんな人がいる人とな

くさん会話ができる、明るい社会になっていけばいいな
と
思っています。

ぼくは、自分からあいさつをすることは、はずかしくあ
りませんが、中には自分からあいさつをすることが苦手だ
と思っている人もいます。ぼくは、そういう風に
あいさつを苦手と思っている人があいさつをできるように、
ぼくから元気なあいさつをするように心がけたいと思っ
ています。

たまに元気なあいさつをしても、返事をしてくれない人
もいます。ぼくはとても悲しい気持ちになりましたが、い
つかあいさつをかえしてもらえるように、元気なあいさつ
をするこゝろをつづけていこゝろと考えています。

あいさつをせぜにただ通りすぎていると、だれもしゃべ
るきっかけがなくなって、暗い社会になってしまってい

と
思っています。

気持ちをつたえるためにも、人から何かをもらった
り、助けてもらったり教えてもらったときは「ありがとう」
の一言がとても大切です。お礼を言われていやな気持ちに
なる人はいないと思います。悪いことをした時もすなおに
「ごめんなさい」の一言がすぐ言える人に、ぼくもなりた
いと思っています。

ぼくは、人にいけないことをしたり、たすけてもらった
りしたら、お礼を言わないといけないということがこの文
章を書いてわかりました。

これからも元気なあいさつをしていきたい。